

1. 職名・氏名 教授 笠井 恭子
2. 学位 学位 博士 専門分野 看護学 授与機関 石川県立看護大学
授与年月 2017年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護技術Ⅰ （2単位 毎年開講）1年生（2017～2019年度）
②内容・ねらい 看護技術の意義および原理を学び、対象の生活過程を健康的に整えるための基本的な表現技術・観察の技術、および対象を安楽に整える技術を修得する。看護の理論に裏付けられた基本的な看護実践能力を修得するとともに、対象の立場を感じ取る感性を磨く。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・学生の主体的な学習を促すため、単元ごとに基礎知識や演習内容に関する予習を課し（2019年度より丸善(株)の動画配信サービス『Educational Video Online』を活用）、講義・演習に臨ませる。 ・すべての単元において学生によるプレゼンテーション、デモンストレーション・グループ討議のいずれかを行う。 ・基本的な看護技術を身につけるため技術の根拠、重要ポイントを明示する。 ・教員のデモンストレーションにより技術をイメージ化させる。 ・演習では学生を小グループに分け技術修得のための訓練を行う。独自に作成した事例に基づき患者役・看護師役を体験し演習終了後自己評価させる。 ・単元終了後に知識と技術の修得ができていないかを小テストおよび実技テストで確認する。 ・高齢者との関わりをとおして対象理解・関係性構築のためのコミュニケーション能力を身につけるとともに、地域住民の生活と健康の課題について考えることを目的として、新町ハウスにおいて永平寺町住民との交流会を実施。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護技術Ⅱ （2単位 毎年開講）1年生（2017～2019年度）
②内容・ねらい 看護技術の意義および原理を学び、対象の生活過程を健康的に整えるための基本的な表現技術、対象の理解を深めるためのコミュニケーション技術および対象の安全を守る技術を修得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・学生の主体的な学習を促すため、単元ごとに基礎知識や演習内容に関する予習を課し（2019年度より丸善(株)の動画配信サービス『Educational Video Online』を活用）、講義・演習に臨ませる。 ・すべての単元において学生によるプレゼンテーション、デモンストレーション・グループ討議のいずれかを行う。 ・基本的な看護技術を身につけるため技術の根拠、重要ポイントを明示する。 ・教員のデモンストレーションにより技術をイメージ化させる。 ・演習では学生を小グループに分け技術修得のための訓練を行う。独自に作成した事例に基づき患者役・看護師役を体験し演習終了後自己評価させる。 ・単元終了後に知識と技術の修得ができていないかを小テストおよび実技テストで確認する。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護技術Ⅲ （1単位 毎年開講）2年生（2017～2019年度）

<p>②内容・ねらい 目的意識的な看護実践能力の修得を目指し、診療に伴う技術を学習する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の主体的な学習を促すため、単元ごとに基礎知識や演習内容に関する予習を課し（2019年度より丸善(株)の動画配信サービス『Educational Video Online』を活用)、講義・演習に臨ませる。 ・すべての単元において学生によるプレゼンテーション、デモンストレーション・グループ討議のいずれかを行う。 ・基本的な看護技術を身につけるため技術の根拠、重要ポイントを明示する。 ・教員のデモンストレーションにより技術をイメージ化させる。 ・演習では学生を小グループに分け技術修得のための訓練を行う。独自に作成した事例に基づき患者役・看護師役を体験し演習終了後自己評価させる。 ・単元終了後に知識と技術の修得ができていないかを小テストおよび実技テストで確認する。
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 フィジカルアセスメント（1単位 毎年開講）2年生（2017～2019年度）</p>
<p>②内容・ねらい 人間の全身の状態を的確に把握するために、系統的に行う身体診査であるフィジカルアセスメントの意義や具体的方法(フィジカルイグザミネーション)を学習する。さらに、看護過程を展開する技術を学習する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の主体的な学習を促すため、単元ごとに基礎知識や演習内容に関する予習を課し（2019年度より丸善(株)の動画配信サービス『Educational Video Online』を活用)、講義・演習に臨ませる。 ・すべての単元において学生によるプレゼンテーション、デモンストレーション・グループ討議のいずれかを行う。 ・基本的な看護技術を身につけるため技術の根拠、重要ポイントを明示する。 ・教員のデモンストレーションにより技術をイメージ化させる。 ・演習では学生を小グループに分け技術修得のための訓練を行う。独自に作成した事例に基づき患者役・看護師役を体験し演習終了後自己評価させる。 ・単元終了後に知識の修得ができていないかを小テストで確認する。
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護学原論Ⅰ（1単位 毎年開講）1年生（2017～2019年度）</p>
<p>②内容・ねらい 看護の定義、看護の役割、人間と環境との相互浸透、健康の法則等について理解し、看護に対するイメージを形成する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 近代看護の創始者であるナイチンゲールの生涯や看護観に関する文献を活用してグループ討議を行い、その内容を発表し学びを深める。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護学原論Ⅱ（2単位 毎年開講）1年生（2017～2019年度）</p>
<p>②内容・ねらい 主要な看護理論について学び、看護のメタパラダイム（中心的概念）である人間・環境・健康・看護について理解する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護理論の変遷について紹介したのち、1グループにつき1つの看護理論について学習する。その内容を発表し看護観、健康観を深める。
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護倫理学（1単位 毎年開講）4年生（2017～2019年度）</p>

②内容・ねらい 医療倫理の変遷、医療倫理に関わる理論・原則・概念、ケアの倫理、看護倫理の概念について学ぶ。さらに、看護実践上の倫理的問題を取り上げ、医療倫理の4原則を用いたアプローチの方法を学習する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 看護実践上の倫理問題について具体的な事例を取り上げ、グループ討議を行いその内容を発表し学びを深める。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学実習Ⅰ （1単位 毎年開講）1年生（2017～2019年度）
②内容・ねらい 病院の概要を知るとともに療養生活の場としての入院環境に対する理解を深める。看護の対象・看護の実際を理解し、看護学生として必要な態度を身につける。生活過程の援助を中心とした対象とのかかわりを通して対象への感性および表現技術を高める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・体調管理、身だしなみ、態度などの基本事項を指導し、実習環境（医療スタッフとの連絡調整、必要物品の整備等）を整えている。 ・学生個々の進捗状況に合わせた個別指導を行う。 ・グループカンファレンスをとおして学生個々の学びをグループメンバーで共有する。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学実習Ⅱ （2単位 毎年開講）2年生（2017～2019年度）
②内容・ねらい 対象の個別に即した看護を認識し計画的に看護を実践・評価するという看護過程を展開するための基本的能力を修得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・体調管理、身だしなみ、態度などの基本事項を指導し、実習環境（医療スタッフとの連絡調整、必要物品の整備等）を整えている。 ・学生が患者の個別性をふまえた看護実践ができるよう学生個々の進捗状況に合わせた個別指導を行う。 ・グループカンファレンスをとおして学生個々の学びをグループメンバーで共有する。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護マネジメント実習 （2単位 毎年開講）4年生（2017～2019年度）
②内容・ねらい 療養生活を送る人々の多様なニーズに対し、安全で効率的な看護を提供するために必要な看護サービスマネジメントの実際を学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・学生を各病棟に1名ないし2名配置する。 ・実習病棟の看護組織の目標を理解した上で、学生自身がスタッフメンバーとしての目標を設定し実施・評価してみる。 ・学生が各々の実習施設で体験したことをもとに報告会を行い、体験の共有化をはかり学習効果を高める。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護発展セミナー （1単位 毎年開講）4年生（2018～2019年度）
②内容・ねらい 看護実践と理論のつながりについて文献検討を行った上で、専門領域看護学実習で受け持った事例について看護理論を活用してまとめる。これらの内容をプレゼンテーションし、グループメンバーとディスカッションを行う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 すべての実習終了後、自己の看護実践の振り返りをとおして看護実践と看護理論のつながりを理解できるよう少人数のゼミ形式ですすめている。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 介護概論 （2単位 毎年開講）社会福祉2年生（2017～2019年度）
②内容・ねらい 高齢者、障害者の日常生活を支える介護技術の基本的な知識と技術（基本的健康観察・食事・排泄・更衣・移動）を修得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・基本的な介護技術を身につけるため技術の根拠、重要ポイントを明示する。 ・教員のデモンストレーションにより技術をイメージ化させる。 ・演習では学生を小グループに分け利用者役・介護士役を体験する。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究 （3単位 毎年開講）4年生（2017～2019年度）
②内容・ねらい 自己の研究課題に主体的に取り組み研究論文としてまとめる。
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 ・文献検討、統計学の基礎、プレゼンテーションの基本について学習会を実施する。 ・随時個別指導を行う。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学特論 （4単位 毎年開講）研究科1年生（2017年度）
②内容・ねらい 看護における主要な概念（人間、健康、環境、看護）に対する理解を深めるとともに、科学的思考能力を養う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 人間や健康に関する文献を読み、ディスカッションを行いながら思考を深める。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学演習 （2単位 毎年開講）研究科1年生（～2017年度）
②内容・ねらい 基礎看護学研究方法に対する理解を深め、論理的思考能力を養う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 自己の研究課題に関連した先行文献のレビュー、プレゼンテーション、ディスカッションを行い思考力、表現力を高める。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学特別研究 （10単位 毎年開講）研究科2年生（2017～2018年度）
②内容・ねらい 各自の研究課題に応じた論文を論理的に構成できる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 研究期間中、学生各自の研究過程のプレゼンテーションを随時行い、学生相互に刺激しあうとともに、複数の教員や他学生からのアドバイスを受ける機会とする。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護理論 （2単位 毎年開講）研究科1年生（2017～2018年度）
②内容・ねらい 複雑かつ困難な看護現象に対して看護理論を応用することによってその現象を明確にし、質の高い看護実践ができる能力を養う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 主な看護理論と看護理論を用いた研究論文に関するプレゼンテーション、ディスカッションを行うことにより看護理論に対する学びを深める。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護マネジメント学演習 （2単位 毎年開講）研究科1年生（2018年度）
②内容・ねらい 文献を基に自己の研究テーマおよび研究方法を明確化し研究計画書を作成する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 自己の研究課題に関連した先行文献のレビュー、プレゼンテーション、ディスカッションを行い思考力、表現力を高める。
①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 看護マネジメント学特別研究(10単位 毎年開講) 研究科2年生(2019年度)
②内容・ねらい 各自の研究課題に応じた論文を論理的に構成できる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 研究期間中、学生各自の研究過程のプレゼンテーションを随時行い、学生相互に刺激しあうとともに、複数の教員や他学生からのアドバイスを受ける機会とする。
(2) 非常勤講師担当科目
①担当科目(単位数) 開講学校名
②内容・ねらい
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
④本学における業務との関連性
(3) その他の教育活動
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文審査委員(副査)(2017~2019年度) 2017年度2名、2018年度2名、2019年度5名 ・ 福井県保健師助産師看護師実習指導者講習会講師「看護論」6時間「看護過程(含看護診断)」6時間(2017~2019年度) ・ 認知症高齢者医療介護教育センター介護教育研修講師(2017年5月19日、2017年10月11日、2018年10月10日) ・ 福井県看護協会看護基礎教育検討委員会委員(2017年度後期~2018年度)

4. 研究業績

(1) 研究業績の公表
①論文 「看護師のせん妄に対する認識の変化—せん妄評価尺度を導入して—」宮本久美子、野口奈々恵、福田清美、亀嶋美玖、 <u>笠井恭子</u> 、日本看護学会論文集急性期看護、49、p.174-177、2019年3月(研究計画から執筆までの全行程を実施)
②著書 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「実践に生かす看護理論 19 第 2 版」共著、「実践に生かす中範囲理論『ストレス適応理論(ハリス・セリエ)』、p.394-402 を執筆、2018 年 11 月、サイオ出版 2) 『三世代近居の健康長寿学—福井・北陸・日本・世界—』共著、「第 2 章豊かさのかたち—こころの健康—」 p.41-53、2019 年 3 月、晃洋書房
③学会報告等 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「1 年間の追跡調査による特別養護老人ホーム入居者の睡眠状態の可視化」、<u>笠井恭子</u>、小林宏光、川島和代、第 16 回日本看護技術学会、2017 年 10 月、東京(研究計画から執筆までの全行程を実施) 2) 「病棟看護師のせん妄への認識の変化—DST スクリーニングツールを導入して—」野口奈々恵、福田清美、宮本久美子、亀嶋美玖、<u>笠井恭子</u>、第 52 回福井赤十字病院看護研究会、2017 年 1 月、福井(研究計画から執筆までの全行程を実施) 3) 「病棟看護師のせん妄への認識の変化—DST スクリーニングツールを導入して—」野口奈々恵、福田清美、宮本久美子、亀嶋美玖、<u>笠井恭子</u>、第 49 回日本看護学会学術集会急性期看護、2018 年 9 月、大分(研究計画から執筆までの全行程を実施) 4) 「看護業務における医療安全行動に関するベネフィット認知の内容」仲井仁見、<u>笠井恭子</u>、大久保清子、第 22 回日本看護管理学会学術集会、2018 年 8 月、神戸(研究計画から執筆までの全行程を実施)

<p>5) 「短時間勤務制度を利用している看護職のキャリア成熟の実態と関連要因」松川恭子、<u>笠井恭子</u>、大久保清子、第 22 回日本看護管理学会学術集会、2018 年 8 月、神戸（研究計画から執筆までの全行程を実施）</p> <p>6) 「看護業務における一般的なベネフィット認知の内容」仲井仁見、<u>笠井恭子</u>、大久保清子、日本看護研究学会第 32 回近畿・北陸地方会学術集会、2019 年 3 月、福井（研究計画から執筆までの全行程を実施）</p> <p>7) 「不顕性誤嚥予防を目指した 60 度ポジショニングの介入研究」朝倉雪江、木戸西里奈、佐藤多美、五十嵐有紀、真柄昌代、<u>笠井恭子</u>、第 55 回日本赤十字社医学総会、2019 年 10 月、広島、（研究計画から執筆までの全行程を実施）</p>
④その他の公表実績
(2)学会活動等
<p>学会でのコメンテーター、司会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会 第 9 回学術集会司会（2019 年 7 月、福井） ・日本看護技術学会第 18 回学術集会ダイナソーセッション座長（2019 年 9 月、福井） <p>学会での役職など</p> <p>学会・分科会の開催運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護技術学会第 18 回学術集会企画委員（2018～2019 年度） ・日本看護研究学会第 32 回近畿・北陸地方会学術集会実行委員（2018 年度） ・国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会 第 9 回学術集会企画委員（2018～2019 年度） ・第 39 回日本看護科学学会学術集会査読委員（2019 年度）
(3)研究会活動等
<p>①その他の研究活動参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸ライフケアシステム研究会 2017 年度第 1 回研究会発表 「特別養護老人ホーム入居者の夜間排泄方法と睡眠状態との関連」<u>笠井恭子</u>、小林宏光、川島和代、2017 年 5 月 16 日、石川県庁 <p>②その活動による成果</p>
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
<ul style="list-style-type: none"> ・全学部競争資金 D 枠 認知症高齢者の睡眠援助に関する研究－大学と施設の協働－（研究代表者、2017 年度） ・平成 29 年度地域貢献研究推進事業 福井県産農産物等を用いたブレンド茶の開発、抗酸化能および抗疲労効果の検証（研究分担者、2017～2018 年度） ・平成 29 年度学長裁量枠研究費 A 枠 地域から世界へ－教養教育を基調とした地方大学の「地域志向」カリキュラムの革新と再編の方向性に関する学際的総合研究（研究分担者、2017～2019 年度） ・戦略的課題研究推進支援 健康長寿戦略 DM チーム 地域における健康長寿戦略のための血糖値を指標とした心身の健康度の総合的調査（研究分担者、2018～2020 年度） ・戦略的課題研究推進支援 福井モデルの生き方チーム 福井発の自分らしい生き方・療養生活のイノベーション（研究代表者、2019～2020 年度） ・科学研究費基盤研究（C）（一般） 長期寝たきり高齢者の自律神経活動を整えるケアの開発－爪もみに焦点をあてて－（研究代表者、2019～2021 年度）
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会 ・勝山市総合行政審議会委員（2017年度） ・勝山市男女共同参画審議会会長（2017年度） ・疫学倫理審査委員会委員（2017～2019年度）
②国・地方公共団体等の調査受託等
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥その他 ・福井赤十字病院看護研究指導（2017～2018年度） ・福井県看護協会看護研究グループ指導講師（2019年度） ・福井県済生会聖和園要介護度改善促進事業（2017～2018年度） ・いきいきサロンめだかの学校講師「睡眠について」（2019年7月12日、越前市家久町家久公民館） ・福井県作業療法士会研究会講師「高齢者の睡眠改善に向けた支援の提案と個々の睡眠パターンに基づく介入－ケアプランの立案・修正－への可能性（2019年11月10日） ・FBC ラジオ「ようこそ県立大学へ」出演 「フィンドレー大学での看護研修について」2019年3月30日 ・FBC ラジオ「ようこそ県立大学へ」出演 「公開講座 高校生のための看護学入門講座について」2019年12月7日
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講 本学公開講座 「リラクゼーション講座 2017 前期」2017年7月15日（土）永平寺キャンパス 「リラクゼーション講座 2017 後期」2017年10月21日（土）小浜キャンパス 「リラクゼーション講座 2017 後期」2017年11月4日（土）永平寺キャンパス 「リラクゼーション講座 2018 前期（基礎編）」2018年6月9日（土）、永平寺キャンパス 「リラクゼーション講座 2018 後期（フォローアップ編）」2018年11月17日（土）永平寺キャンパス 「当世親孝行手帳～お家で介護するための基礎知識～」2018年10月20日（土）永平寺キャンパス 「女性のためのリラクゼーション講座」2019年9月14日（土）永平寺キャンパス 「女性のためのリラクゼーション講座」2019年9月29日（日）小浜キャンパス 「高校生のための看護学入門講座」2019年12月22日（日）永平寺キャンパス
②社会人・高校生向けの講座 開放講義（羽水高校 2018年7月13日）
③その他
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
(2)委員会・チーム活動

- ・大学院看護学専攻（博士後期課程）（仮称）設置プロジェクトチーム委員（2019年度）
- ・教育研究委員会（2019年度）
- ・ハラスメント等人権問題に関する委員会（2017年度）
- ・学科内委員
 - 教務（2019年度）
 - 1年生担任（2017年度）
 - 2年生担任（2018年度、2019年度）
 - 研究科入学試験委員（2017～2018年度）
- ・学科内・研究科内チーム活動
 - コアカリキュラムプロジェクトメンバー（2017～2019年度）
 - フィンドレー大学国際交流ワーキンググループ（2017～2019年度）
 - 中期目標企画メンバー（2018年度）
 - 大学院学生確保等に関するワーキンググループ（2019年度）

(3)学内行事への参加

（行事名、参加日時）

- ・新入生オリエンテーション合宿引率（2017年4月8～9日、2018年4月14～15日）
- ・福井国体障がい者スポーツ大会ボランティア活動への協力・激励（2018年10月11～16日）
- ・看護福祉学部ハラスメント防止研修（2017年1月4日）
- ・県立大学創立25周年記念教職員行事实行委員（2017年5月31日）
- ・フィンドレー大学交換留学生受け入れ（2017年6月6～27日、2019年5月13～30日）
- ・フィンドレー大学看護短期研修参加（2019年2月11日～28日）
- ・入試説明会（三国高校2019年9月9日、福井高校2019年9月13日）

(4)その他、自発的活動など